

大牟田市立三池小学校

1 本校のESDの特徴

大牟田市立三池小学校には豊かな自然が豊富に残っており、田畑を営む方々も多い。また、本校の地域は、江戸時代に三池藩があり、城下町・宿場町の面影を残し、史跡や民話など歴史と伝統が豊富に残っている。さらに、地域の史跡などを熟知されてあるボランティアガイドの人材も豊富である。その豊富な地域の「ひと・もの・こと」を生かし、総合的な学習の時間を中心に、本校では特色ある地域を教材として活用することにより地域を愛する態度を育成することをねらいとしている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

<各学年の「地域体験学習」の活動内容>

「1・2年生」

- ・三池陣屋跡周辺《①陣屋玄関屋根（学校内）②陣屋大手門跡（西運動場階段）③陣屋眼鏡橋④一の井戸⑤二の井戸⑥船津和算塾跡》を散策し、三池小学校周辺が貴重な歴史遺産であることを理解する。

「3年生」

- ・三池に伝わる昔話や民話を調べる活動《①金井寺②劫月院跡③明正寺④願敬寺》を行い、紙芝居を作り、授業参観等で発表する。

「4年生」

- ・三池校区にある史跡《①藤本伝吾邸跡②寿光寺③高田行宮跡④三池典太屋敷跡⑤景行天皇史跡》を調べる活動を通して、地域にはたくさんの史跡があることを理解し、調べたことをまとめて授業参観等で発表する。

「5年生」

- ・三池に伝わる大蛇の歴史や祭りや史跡等《①新町彌剣神社②明正寺③本町祇園宮④妙見神社》を調べる活動を行い、全校集会や授業参観の場で発表する。

「6年生」

- ・三池校区にある史跡《①陣屋玄関屋根②陣屋大手門跡③陣屋眼鏡橋④立花兄弟生家跡⑤藤本伝吾邸跡⑥新町彌剣神社⑦寿光寺⑧高田行宮跡⑨安照寺》を探索し、プレゼンテーション資料にまとめ授業参観等で発表する。

「全学年」 「ユネスコスクールの日」記念集会で全校児童に発表する。

3 特徴的な活動事例

<6年生 総合的な学習の時間 単元名「三池の歴史遺産を調べよう」>

(1) 目標

三池に残る歴史遺産を調べたり、実際に歩いて見学したりする活動を通して、地域を愛する心情を育てる。

(2) 実践の展開

- ①三池の歴史遺産について調べる計画を立てる。
- ②三池に残る史跡をインターネットや130周年記念誌「みいけのさと」で調べる。
- ③調べたことをもとに実際に三池校区の史跡を見学する。（ボランティアガイドの活用）

④グループで調べたこと、体験したことをもとにまとめ発表会をする。

⑤「ユネスコスクールの日」記念集会で全校児童に発表したり、E S Dパネル展示をして、保護者や地域の方へ活動を紹介する。

(3) 子どもたちの様子

- ・地域体験学習で実際に史跡を訪れる前に、三池校区にはたくさんの史跡があることを知らせ、三池校区の史跡を調べていこうという意欲を持たせた。
- ・そして、総合的な学習の時間を使って、陣屋大手門跡・陣屋眼鏡橋・立花兄弟生家跡・藤本伝吾邸跡・新町彌劔神社・寿光寺・高田行宮跡・安照寺について調べる活動をさせた。
- ・本校の130周年記念として製本された「みいけのさと」やインターネットの「三池街道（大牟田編）」を主な資料として調べ活動を展開した。調べて分かったことをプレゼンテーション資料にまとめたり模造紙にまとめたり、新聞作りをしたりして、分かったこと等を授業参観で発表した。また、「ユネスコスクールの日」記念集会で全校児童に発表したり、E S Dパネル展示をして、保護者や地域の方へ活動を紹介した。



【彌劔神社での大蛇伝説説明】



【記念集会で児童発表】

(4) 成果と課題

《成果》

- ・これまで児童は、三池校区にたくさんの歴史遺産があることを知らずにいたが、この学習を通して三池の地域の史跡を知ることができ、これからも地域の史跡を大切にしていきたいという気持ちを持たせることができた。

《課題》

- ・「三池の歴史を学ぶ」（三池地区公民館ボランティア団体）の方々と連携して、今後も地域学習の充実を図りたい。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・学年の発達段階に応じて、地域の歴史遺産を学習したことにより6年間を通して地域学習に取り組むことができるようになった。そのことにより、児童が小学校を卒業しても三池の地域を大切に継続することができると思う。

○課題

- ・教師が校区内の歴史的遺産についてさらに詳しく教材研究し、地域に積極的に発信していく授業作りができるようにしていきたい。